

7-9月のGDPに再び思うこと

- 木曜日 - 09 12 月 2021

昨日 2021 年 7 月から 9 月の GDP 成長率(対前年比)の 2 次調整値が発表になり、1 次発表値に比べ若干マイナスが大きくなりました。具体的には、下表のとおりで、名目で-0.6%(年率換算-2.5%)から-1.0%(年率換算-4.1%)となりました。各項目別に見ていくと前年比でプラスの項目もあり、民間住宅、政府最終消費支出などはしっかりとプラスになっていました。

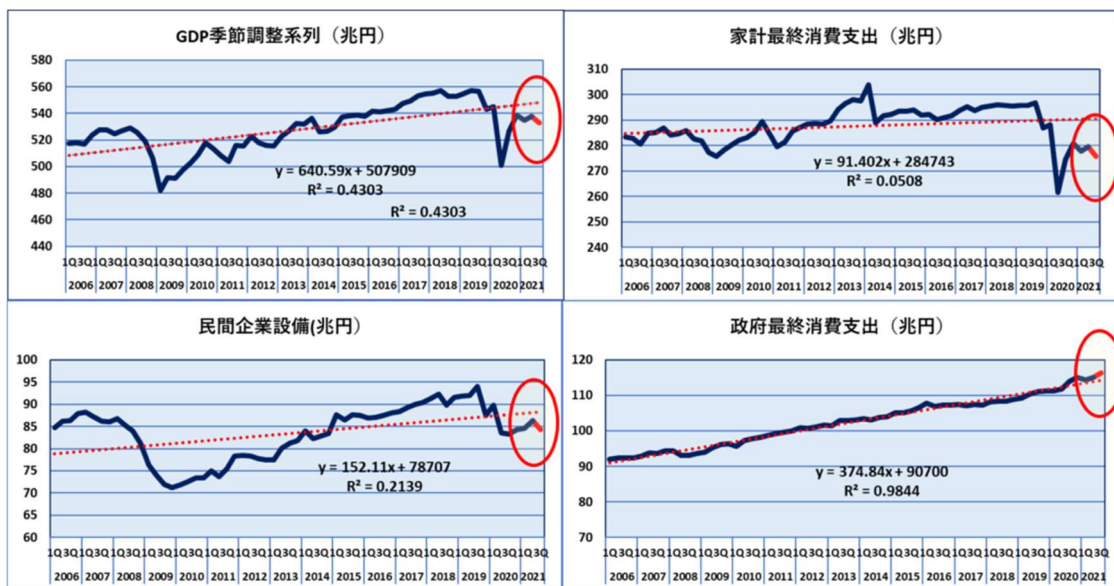
1-1. 1次速報値と2次速報値の比較(四半期値、実質、季節調整済前期比)						1-2. 1次速報値と2次速報値の比較(四半期値、名目、季節調整済前期比)										
Comparison of the First Preliminary and the Second Preliminary Estimates(Quarterly Real Gro Adjusted Series, Quarter-to-Quarter)						Comparison of the First Preliminary and the Second Preliminary Estimates (Quarterly Nominal Growth Rate, Seasonally Adjusted Series, Quarter-to-Quarter)										
(2015年平準価格) 単位: (%) (Chained 2015)						(% ; seasonally adjusted)										
年・期	2021/7~9		2021/7~9		前年同季 (2020.7~9)	年・期	2021/7~9		2021/7~9		前年同季 (2020.7~9)	年・期	2021/7~9		2021/7~9	
	1次速報値 (2021.11.15発表) 1st Prelim.	2次速報値 2nd Prelim.	1次速報値 (2021.11.15発表) 1st Prelim.	2次速報値 2nd Prelim.			1次速報値 (2021.11.15発表) 1st Prelim.	2次速報値 2nd Prelim.	1次速報値 (2021.11.15発表) 1st Prelim.	2次速報値 2nd Prelim.			1次速報値 (2021.11.15発表) 1st Prelim.	2次速報値 2nd Prelim.		
国内総生産 (GDP)	-0.8	-0.9	***	***	G	国内総生産 (GDP)	-0.6	-1.0	***	***	Gross Domestic Product	-0.6	-1.0	***	***	
[年率換算]	[-3.0]	[-3.6]				[年率換算]	[-2.5]	[-4.1]			(Annual rate)	[-2.5]	[-4.1]			
国内需要	-0.9	-0.9	-0.9	-0.9		国内需要	-0.1	-0.4	-0.1	-0.4	Domestic Demand	-0.1	-0.4	-0.1	-0.4	
民間需要	-1.4	-1.4	-1.0	-1.0		民間需要	-0.7	-1.0	-0.5	-0.7	Private Demand	-0.7	-1.0	-0.5	-0.7	
民間最終消費支出	-1.1	-1.3	-0.6	-0.7	Private Co	民間最終消費支出	-0.8	-1.0	-0.4	-0.6	Private Consumption	-0.8	-1.0	-0.4	-0.6	
家計最終消費支出	-1.2	-1.4	-0.6	-0.7	Consumpt	家計最終消費支出	-0.9	-1.1	-0.5	-0.6	Consumption of	-0.9	-1.1	-0.5	-0.6	
個人消費	-1.4	-1.6	-0.6	-0.7	Private Re	個人消費	-1.1	-1.3	-0.5	-0.5	Private Investment	-1.1	-1.3	-0.5	-0.5	
民間住宅	-2.6	-1.6	0.3	0.1	Change in	民間住宅	1.0	1.4	0.0	0.0	Change in Private Inventories	1.0	1.4	0.0	0.0	
民間企業設備	-3.8	-2.3	-0.6	-0.4	Private No	民間企業設備	-2.9	-1.7	-0.5	-0.3	Private Non-Res. Investment	-2.9	-1.7	-0.5	-0.3	
民間在庫変動	***	***	0.3	0.1	Change in	民間在庫変動	***	***	0.4	0.1	Change in Private Inventories	***	***	0.4	0.1	
公的需要	0.6	0.4	0.2	0.1		公的需要	1.3	1.1	0.4	0.3	Public Demand	1.3	1.1	0.4	0.3	
政府最終消費支出	1.1	1.0	0.2	0.2	Governme	政府最終消費支出	1.9	1.8	0.4	0.4	Government Consumption	1.9	1.8	0.4	0.4	
公的固定資本形成	-1.5	-2.0	-0.1	-0.1	Public Inv	公的固定資本形成	-0.7	-1.2	-0.0	-0.1	Public Investment	-0.7	-1.2	-0.0	-0.1	
公的在庫変動	***	***	-0.0	-0.0	Change in	公的在庫変動	***	***	-0.0	-0.0	Change in Public Inventories	***	***	-0.0	-0.0	
(再掲)経常固定資本形成	-3.1	-2.1	-0.8	-0.5	(Regru	(再掲)経常固定資本形成	-1.9	-1.1	-0.5	-0.3	(Regrouped) Gross Fixed Capita	-1.9	-1.1	-0.5	-0.3	
貿易・サービスの純輸出	***	***	0.1	0.0	Net Ex	貿易・サービスの純輸出	***	***	-0.5	-0.6	Net Exports of Goods & Services	***	***	-0.5	-0.6	
貿易・サービスの輸出	-2.1	-0.9	-0.4	-0.2	Exports of	貿易・サービスの輸出	0.4	1.2	0.1	0.2	Exports of Goods & Services	0.4	1.2	0.1	0.2	
(再掲)貿易・サービスの輸入	-2.7	-1.0	0.5	0.2	(Less) Imp	(再掲)貿易・サービスの輸入	3.0	4.5	-0.6	-0.8	(Less) Imports of Goods & Services	3.0	4.5	-0.6	-0.8	

https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/sokuhou/files/2021/qe213_2/pdf/gaiyou2132.pdf

7月~9月は第5波がすっぽり入る期間なので、前年比マイナスはやむをえないとは思ものの、前年の7月~9月とて、第1波の余波で経済回復がままならない時期であったことを考えれば、今年全体の経済の回復が心配になります。

この四半期毎のGDP発表では、時系列データも発表されますので、前回4月~7月の発表時と同じように、金額の大きなGDP構成要素について時系列グラフを書いてみました。たったひとつデータを書き足したただけなので、グラフについて書くことは基本的には変わりませんが、もう一度データを提示し、感じることを述べてみたいと思っています。

実質季節調整値年額でのGDP、家計最終消費支出、民間住宅、政府最終消費支出の4項目です。



https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/sokuhou/files/2021/toukei_2021.html

今回のデータにあたる部分を赤くしてあります。政府最終消費支出を除き、すべて前回(4月～7月分)よりも減少しています。

「この4つのグラフの縦軸は、最大と最小の比率がおおよそ10:6になるように描いてあります。それはこの傾きを見てほしいからです。直線近似式とそのR2乗も載せてありますが、それぞれの近似線の傾きはおおよそGDP(全体)≒家計最終消費支出+民間住宅+政府最終消費支出となっています。つまりGDPが年々大きくなっている要因の最たるものは政府最終消費支出であるということです。そして、GDPの中で最も大きな比率を占める家計最終消費支出の成長の仕方が最も小さいのです。こんなことは前から分かっていたことだと言われそうですが、日本の経済の実態はこんなものだったのかと心配になりました。」前回はこうした趣旨の文章を書きました。今回もまた同じようなグラフを描き、同じような感慨に囚われます。

確かに今は非常時であり、特別な時期であるでしょう。しかし、単に前年比のデータを見て第5波だったから仕方なかったというだけでよいのでしょうか？世の中は回復ムードで人流も回復中です。くれぐれも第6波がこないように慎重な行動を続けたいものと思います。